

生命の海から

学芸員 森 浩嗣

ペンギンのまねをした鵜

ペンギンと鵜、どちらも水中を泳ぐ鳥ですが、泳ぎ方が全く違うことを知っていますか？ペンギンは翼を使って水中を羽ばたくように泳ぐのに対し、鵜は足を使って泳ぎます。

はるか昔、ペンギンも既に登場していた頃、北太平洋に生きていた鵜の仲間「プロトプテルム」はペンギンのように水中を羽ばたいて泳いでいたと考えられています。別名『ペンギンモドキ』といます。

最も古いプロトプテルムの化石は、日本とアメリカのほぼ同じ時代（およそ3千400万年前）の地層から見つかっていますが、どちらが起源なのかは不明です。しかし、彼らは千800万年前には絶滅して



プロトプテルム的一种
イラスト提供：山本 匠

まいました。何がペンギンとプロトプテルムの命運をわけたのか？謎は尽きません。

ところで、「鵜のまねをするカラス」ということわざがあります。自分の能力をわきまえずに人の真似をしても失敗するという意味ですが、ペンギンのまねをした鵜のことは何と言つべきでしょうか？

そんなプロトプテルムの化石のレプリカを、現在科学館で展示中です。長崎県西海市で新発見されたものです。ぜひ見に来てください。

9月 イベントカレンダー

ショー

ワークショップ

おはなし

- 5 レッツ！ エンジョイ★サイエンス
 - 6 ぐるぐる回る、つり下げ飾りをつくろう
 - 12 カルトナージュのミニトレー
 - 13 ミニコンサートで愉しむ 朗読の世界
小学校高学年向け理科実験室
顕微鏡の世界
フマムシと水中の微生物
 - 19 紙コップで
プラネタリウムを作ろう
 - 20 小学校低学年向けかがく工作室
ボンボン船をつくろう
 - 21 アンモナイトをさがそう！
 - 22 アンモナイトをさがそう！
 - 26 くぎうちでエンピツたてをつくらう！
 - 27 おはなしライブ
小学校中学年向けかがく教室
磁石の力で動くテントウムシをつくろう
- 本十作 9月5・6日開催
- イベントの時間・定員・参加方法などは科学館ホームページでご確認ください。

ヒトコマトリビア

アサリの酒蒸しを食べながら…

アサリにもちゃんと、口もお尻もあります。口があるほうが前でお尻が後ろ、足が伸びているほうがお腹で反対側が背中です。なあんだ、私たち人間と同じですね！なので、イラストのアサリでは、手前側に見える殻が左なのです。

ちなみに、5億年前のアサリの遠いご先祖さまにも前後・左右があったことが、化石から分かっています。科学館の展示で見ることができますよ♪

